

第53回全日本弓道大会

範士の部 優秀賞 県連名誉会長 宮澤 廣先生



5月3日京都市で行われた大会で、名誉会長の宮澤廣先生が、全弓連審議委員による審議の結果、「範士の部」で見事優秀賞に選考されました。
二度目の栄冠で県弓連にとっても、大変名誉なこと心からお祝い申し上げます。

弓道ながの

第 2 号

発行：長野県弓道連盟
会長 古澤 博
〒389-2253
飯山市中央橋通り
TEL 0269 (62) 4121
編集：県弓連広報部会
印刷：㈱長野企画会

京都大会に参加して

長野県弓道連盟 名誉会長

宮澤 廣

春真盛りの五月三日、四日に京都御所内済寧館弓道場と岡崎にある武道センター弓道場で今年も全日本弓道大会が開催された。

全国からの参加者は有段者五五〇名、錬士四九二名、教士四八一一名、範士六九名の計一五九二名、その内外国から錬士三名が参加しての大会でした。年々参加者は増加しています。そして今年も53回目の大会となりました。

この伝統ある大会に参加して全国の弓友先輩、先生と合うことができ今年もまたお会いできましたねと挨拶を交すことができる喜びを心待ちにしていた大会であります。高齢者の多い範士の先生方は毎年記念撮影を行ない元気な姿を弓道誌に掲載されます。

京都大会といえば三十三間堂の通し矢は有名です。一般の方々も三十三間堂の大会ですかというぐらい弓との結びつきがあります。しかし残念なことに十数年前から遠的大会は廃止され、明治神宮内の中央道場での大会になりました。遠的大会と近的大会が同時にできたことで大変盛会でしたが今はそれがなく一抹のさびしさがあります。今年も四段受有者の参加があり若く深刺とした射が見られました。そして立派に引いておりました。決勝戦では十本の競射をしておりました。その結果四段の人が優勝し二位四位五位も四段の人であり、更には五人の入賞者の中で四人が女性でありました。

錬士の部では射詰五本を行ない、五段の人が一位、二位と上位を占め、そして優勝者は女性でありました。教士の部では射詰六本を行ない、六段の人が優勝しました。今大会の優勝

者がその部の中では下位の段であった。これはどういうことか考えさせられる。ベテラン選手の奮起を望むところです。同時に女性選手の活躍が目覚しい大会であったことも特筆できる。

範士の部は一手演武の結果優秀者一名を決定した。私は思いもよらず優秀賞を頂くことができ誠に幸運であり、名誉なことと感激いたしております。各部の入賞者の中に長野県選手がいないことは誠に残念であり淋しい感じがする。しかし入賞することは大変難しいことです。各部とも五〇〇名の選手が競射することですから、競技運もさることながら実力を発揮できる精神力の強さが必要です。今後は長野県弓連会員全員が一丸となって京都大会を始め各種大会に上位の成績を上げるよう頑張つてほしいと思っております。

話しは異なるが審査会においても一立ち五名の場合女性が四名又は三名と男性より多い傾向にあることは大変喜ばしいことである。近い将来男・女の会員が同数になることでしょうか。長野県内でも女性会員の増加を図り長野県弓道連盟の発展につなげていかなければならないものと思っております。以上京都大会に参加して感じたこととあります。

長野県弓道近の選手権大会

4月7日/上田市菅弓道場

参加者118名

男子

●三段以下の部

- ①丸山三夫(二段) 松本②保刈明彦(三段) 松本③佐々木和則(三段) 木曾
- ・決勝 四射目から24cm的

- 一位 〇〇×〇 丸山 三夫
- 二位 ×〇×〇 保刈 明彦
- 三位 × 佐々木和則

▼四・五段の部

- ①志村仁(四段) 諏訪②今井文明(五段) 諏訪③村山弘信(四段) 上小
- ・決勝 四射目から24cm的

- 一位 〇〇〇〇〇 志村 仁



- 二位 ×〇〇〇〇 今井 文明
- 三位 ×〇〇 村山 弘信

▼称号受有者の部

①古澤金蔵(教七) 飯山②関沢喜内(錬五) 松本③宮崎完(教六) 上小

・決勝 四射目から24cm的

- 一位 〇〇〇〇 古澤 金蔵
- 二位 ×〇〇〇 関沢 喜内
- 三位 ×〇〇 宮崎 完

◎女子

▼四段以下の部

- ①清沢小弓(二段) 松本②水田明美(四段) 上伊那③西沢永子(二段) 松本
- ・決勝

- 一位 〇〇 清沢 小弓
- 二位 ×〇 水田 明美
- 三位 ×〇 西沢 永子

▼五段以上の部

①高地美佐子(五段) 上小②鷹野昌子(錬五) 長野③松沢みさ子(五段) 須高

・決勝 四射目から24cm的

- 一位 〇〇××××〇〇〇 高地美佐子
- 二位 ×〇××××〇〇〇 鷹野 昌子
- 三位 ×〇〇 松沢みさ子

- ×〇〇 滝沢 武子
- ×〇〇 高木 涼子

※技能優秀者賞

小垣 省悟(四段) 上伊那

第37回全日本女子

弓道大会(中日本)

土屋 芳子(五段) 選手が準優勝

4月14日/兵庫県立弓道場(明石)

参加者519名(参、四段214名・五段148名・称号157名)

長野県より16名が参加(参、四段2名・五段4名・称号10名)

▼県関係

予選通過者

四ツ矢三中 土屋 芳子(上小)

・決勝(五段の部)

皆中者一名、三中者は遠近競射

- 二位 土屋 芳子



ねりんびつく県大会

全国大会予選射会

6月15日/松本市菅弓道場

参加者29名

成績は次の通り

▼県大会 8射

- 一位 丸山 三夫(松本) 6中
- 二位 百瀬 稔(松本) 5中
- 三位 荻原 恒雄(上小) 5中
- 四位 小山喜代二(飯山) 5中

▼全国大会長野県代表

◎監督

関沢 喜内(松本)

・選手

- 丸山 三夫(松本)
- 百瀬 稔(松本)
- 道上 英子(佐久) 女子代表
- 小林 歳二(上小) 80才以上代表
- 関沢 喜内(松本)
- 補欠 中村 尚子(安曇)

※全国大会

平成14年10月19~21日

福島県郡山市 開成山弓道場

ご健闘をお祈りいたします。



出場選手のご健闘を祈ります。

上越市で行われます。

ブロック予選会については、7月28日、明治神宮中央道場で行われます。

なお全日本選手権大会は10月4日〜6日、明治神宮中央道場で行われます。

古川忠司選手は、初出場。遠藤由美子選手は昨年に引き続き連続出場です。

得点上位者男女各15名を選出・決勝は的中制により6射を行い上位者より男女各7名を選出・第1位を県代表として第2位から7位をブロック代表とした。

古川忠司選手は、初出場。遠藤由美子選手は昨年に引き続き連続出場です。

なお全日本選手権大会は10月4日〜6日、明治神宮中央道場で行われます。

ブロック予選会については、7月28日上越市で行われます。

出場選手のご健闘を祈ります。

参加者59名

5月12日/塩尻市営弓道場

古川 忠 司選手
遠 藤 由美子選手

県代表決定

全日本弓道男子・女子
近的選手権大会 長野県予選会

平成14年 近的選手権長野県予選会 決勝結果

	氏 名	支 部	1回戦		2回戦		3回戦		的中	競 射	順位
			○	×	○	×	○	×			
男 子	中野 栄 治	上 小	○	×	×	○	×	○	3	× ×	9
	土川 俊 市	木 曾	○	×	○	○	○	○	5	× ○ ○	2
	寺島 信 夫	松 本	○	×	○	×	○	×	3	○	6
	古澤 金 蔵	飯 山	×	○	×	○	×	○	3	× ○ ×	8
	郷道 隆 志	中 高	×	○	×	○	×	×	2		10
	小澤 敏 之	松 本	×	×	×	×	○	○	2		10
	桜井 耕 三	長 野	×	○	×	×	○	×	2		10
	外蘭 公 毅	上伊那	×	×	×	○	×	○	2		10
	宮坂 博 之	諏 訪	○	×	×	×	○	×	2		10
	踏分 英 世	長 鉄	○	○	×	○	×	×	3	× ○ ○	7
	西沢 誠	上 小	○	×	○	○	×	○	4	× ×	5
	古川 忠 司	飯 伊	○	○	○	×	○	○	5	○	1
	小林 克	松 本	○	×	○	×	○	○	4	× ○	4
	大蔵 務	長 野	×	○	○	○	○	○	5	× ○ ×	3
北村 彌 昌	上伊那	×	×	×	×	×	○	1		15	
女 子	木原 その江	長 野	×	×	○	×	×	×	1	遠近	8
	民野 千代子	中 高	×	×	×	○	×	×	1	遠近	8
	高木 涼 子	上 小	○	×	×	×	×	×	1	遠近	8
	久保田 智 恵	上伊那	×	×	×	×	×	×	0		15
	滝澤 武 子	松 本	×	×	×	×	○	×	1	遠近	8
	高地 美佐子	上 小	×	×	○	○	○	○	4	○ ○ × ×	2
	小池 房 子	長 野	○	×	×	○	×	×	2	× ○	5
	遠藤 由美子	上 小	○	○	×	○	×	○	4	○ ○ × ○	1
	松澤 みさ子	須 高	×	×	×	×	○	×	1	遠近	8
	近藤 明 子	松 本	×	×	×	○	×	×	1	遠近	8
	鷹野 昌 子	長 野	×	×	○	○	×	×	2	× × ○ 遠近	6
	山口 久美子	諏 訪	×	○	×	×	○	○	3	○ × ○	3
	藤沢 敏 子	飯 伊	×	×	○	×	×	○	2	× × ○ 遠近	7
	赤羽 昭 美	諏 訪	○	×	×	×	×	×	1		8
小池 梨枝子	長 野	×	×	○	×	○	○	3	○ × ×	4	

男子・女子各1位は県代表 2位〜7位はブロック代表

インタビュー

県弓界最高峰

濱 與祐先生をお尋ねして



濱先生略歴
 大正6年4月20日 生まれ
 昭和36年 京都三十三間堂 全日本遠的選手権大会優勝
 全日本遠的選手権大会優勝
 第16回秋田国体遠的優勝
 昭和49年 明治神宮奉納全国大会優勝
 昭和51年 明治神宮奉納全国大会優勝
 昭和63年 勲五等瑞宝章受賞
 平成4年 九段
 平成12年 武道功労章受賞

五月若葉の爽やかな日、濱先生をお尋ね致しました。事前に電話を致しておきましたので、いろいろな資料を用意してお待ち頂きました。

○今の生活の様子

視野が狭くなり目が少し不自由なほかはお元気で、時折は自宅の道場(誠道館)で後輩の指導をされておられ、健康保持のために、矢取道を歩くことを日課とされているようです。

○弓の修練

「稽古」を第一に、千度万度行きつ戻りつ、壁に突き当たり、突き進む日々の連続を・・・反復繰り返し返し薄紙を一枚一枚積み重ねる貴重な体験をすることです。弓道は自己との闘いです。僅かな心の動揺、技の疎隔が直ちに響いて静止している的にも外れる。

即ち相手は的ではなく自己にあることを銘記しなければなりません。

○今までの思い出

昭和三十六年六月五日、京都三十三間堂全日本遠的選手権で、一・五メートル的から一メートル的へ皆中で決勝射詰に進みました。四本目、相手は外しましたがこの時勝たねばという気持ちにはなかつた。しかしどうしたわけか、ふっと社歌が浮かんで来た。社歌を歌いながら心をしずめ無欲のうちに離れに至った。全射的中優勝。五月の爽やかな若葉の風が薫っていたのは忘れられない。



同じ年の秋、秋田国体の遠的競技において決勝まで進んだこと。相手の鹿兒島県は八十二点、長野県は最後の一本を残して八十点、大将の濱先生はここで三点以上をとという気持ちはあつたが、その時からだは伸び伸びして当てようという気はなくなり離れた。見事三点にはいり逆転で優勝できた。

○後輩に

「技能円熟」「射品高雅」「射芸の妙」の追求に励んでほしい。長野県・信濃路に天皇杯、皇后杯を運んでもらいたい。天覧試合で長野県ではただ一人、牧田潤先生が優勝していますが、以来続く人がいない。

修練の在り方に真剣さが欲しい。今の弓士は幸せだ。多くの先生が近くに来て、いつでも学ぶことができる。昔は中央の先生を頼って東京まで出かけていった。多くの人の中で指導を受けるので、自分の指導の時間はわずかであった。

全日本選手権大会は点数制なので、一本一本に徹する練習をしてほしい。長野県の武道の中では弓道が一番盛んで全国的にも引けを取らない位置にあることを各人が自覚して弓道を発展させていってほしい。と熱意を込めて話していた頂きました。

一時間余にわたりいろいろなお話を伺いました。先生の弓道に対する深い思いがひしひしと伝わって参りました。今後のご健康をお祈りし、失礼させていただきます。

「諏訪湖水上射流し大会」でも三百六十八メートルの記録が残っており、道場に記録を示す高札が残されております。思い出を語る先生のお顔はにこにこされて競技の厳しさ苦しさと共に昔を思い起こし語っていた頂きました。

(広報部 北村弥昌)

よさこい 高知国体

第57回 団体開催地紹介

高知県弓道連盟常務理事

伊藤 尚武

太平洋に開け、変化に富む自然を残す高知、陽光降り注ぎ明るく温暖で進手の気風あふれる風土は、激動の時代に数多くの国の舵取りを輩出した。この伝統を受け継ぎ「21世紀への自立と挑戦」をスローガンに県民一丸となって「よさこい高知国体」の成功に努力しています。

高知県は、南はペギー葉山が歌った「南国土佐を後にして」に出てくる鯨が泳ぐ太平洋があり、近年は修学旅行でホエールウォッチングに来るほどで、また、漫画家青柳祐介の画く土佐の一本釣りで有名な「かつお」の捕れる「おらんくの池」でもあります。最近では室戸岬で取れる深層水の海水が魔法の水と言うことで一躍脚光を浴びています。国体でもシンボルマークは力強い黒潮をモチーフにした3本の波で表現したものとなっています。さら

にマスコットも黒潮のしずくをデザインしたのになっています。

高知は、山が多く全県の84%を林野が占める森林県で、人口の半数以上が高知平野に集中しています。温暖な気候に恵まれ、高知平野では促成、抑制栽培が盛んで、なす、ピーマン近年ではフルーツトマトが特産品となっています。果物では「土佐文旦・新高梨(子供の頭程の大きさ)」が有名です。過去には、米の二期作も行なわれていた。気象は、南海型に属し、降水量が多く高温多雨が特徴で夏季大会が開催になる九月は、残暑が厳しく台風襲来が想定されます。弓道は秋季大会の種目でしたが、宿泊の関係で、日体協の承認を経て夏季大会となっています。競技に出場される選手の間は暑さが大変ですが健闘される事を祈ります。

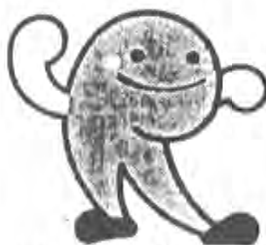
最後になりましたが、高知の観光ですが、月の名所桂浜とそこに立つ坂本龍馬像は有名です。また8月9日〜12日に開催される「よさこい祭り」は、正調、サンバ調、ロック調など工夫を凝らした踊りが振り付けされており、踊り子のもとより、見物人を魅了するパワーあふれる祭りとして全国に発信

しており、北海道のYOSAKOIソーラン祭りは、本場高知を凌ぐ規模になっています。また本県は自然が豊かで日本最後の清流四万十川巡りも近年観光ブームになっています。土佐は 豪快なかたぎで酒量は四国一で辛口の酒は特に有名でお土産にはお勧めです。酒席では高知の皿杯料理、かつおのたたきもぜひ召し上がって下さい。皆様のご来高を心からお待ちしています。

よさこい高知国体

愛称

自由で、明るく、情熱的におどる「よさこい祭り」。2002年に高知で開かれる国体を、よさこい祭りなどの個性あふれる地域文化や豊かな自然を生かした、いつまでも心に残る高知らしい大会とします。



愛称 **くろしおくん**

マスコット

高知県の豊かな自然環境の象徴である黒潮をモチーフに、21世紀に向かって力強く前進する県の姿を表現しています。

いしん 前進

スローガン(キャッチコピー)

明治維新を前進させた高知県民の情熱により、2002年の新しい国体づくりと21世紀を担う人づくりを進めます。



シンボルマーク

国体マークに打ちよせる3本の波は、力強い黒潮をモチーフに人々が集い、躍動するイメージを表現しています。カラーの赤・黄・青は、情熱・若さ・夢を象徴するとともに、さんさんと降り注ぐ太陽の下、高知県の豊かな自然や温かい人情を表しています。

審査合格者

定期中央審査

○教士の部 5月5日 京都

奥山 誠 治(長野)

近畿臨時中央審査

◆錬士の部 5月7日 京都

木原 その江(長野)

北信越連合審査

6月2日 柏崎

四段の部

牧田 尚之(上小)

五段の部

◆錬士の部 6月9日 長野

北信越臨時中央審査

◆錬士の部 6月9日 長野

高地 美佐子(上小)
高木 秀明(安曇)

審査合格者(地方)

3月23日/須坂市営

一級1名 初段45名

式段9名

佐藤 仁美・岡木 身江・徳竹 由紀
山上 慎二・島田真由子・保坂 篤志
小田切 恵・湯本なつき・武田 礼子

3月24日/長野市営

一級23名 初段64名

式段18名

田中 毅彦・芳川 祐介・島田 諭志
伊藤 拓宗・小林 拓矢・荒井 麻美
小林 若菜・牧 好美・坂本 裕子
田中 峻介・徳永 千恵・岩渕麻衣子
田中 恵・飯島亜沙美・相沢 昌子
山本 明子・池田英鼓史・北島和嘉子

4月21日/塩尻市営

一級46名 初段62名

式段25名

入 和希・荒井 佑太・福山 昌
宮本 明子・布施 一好・吉田 皓美
藤澤 孝文・小塩 美穂・花村 美咲
川久保真帆・手塚 沙織・齋藤 沙織
松原 剛志・土屋 一穂・谷口真依子
磯谷 風太・山ノ井 忠・松原 重雄
三村 典子・新原いづみ・大矢 誠
吉野 恒夫・伊藤 淳・橋本 和美
内野 貴文

四段17名

大久保勇武・鈴木 善晴・佐藤 健児
小林 博正・保刈 明彦・仲田 一尋
近藤 恒平・半谷 友一・中川 阿紀
布野 昶・増田 美香・上條 徹也
滝澤 昇・辻本 宜敏・望月 道子
伊藤 公二・田中テル子

4月21日/県営飯田

一級2名 初段105名

式段28名

橋爪 千明・中村 健二・熊谷麻祐子
熊谷 公博・塩澤 宏章・鴨井 由衣
下平 春奈・細江 徹・長沼 眸
伊藤 華子・平栗裕美子・下井 実
村松 英成・宮下 真人・宮島 知香
上村 曉美・松上 希美・唐澤 広美
後藤真由美・原 利樹・小林明日美
加藤 良子・北原 祐樹・宮下 萌
小林 啓子・細田 美帆・大城つばさ
塩沢 量

5月26日/小諸市営

一級12名 初段129名

式段35名

森 慶太・丸山 三夫・本藤 幸恵
窪田 和恵・久保 コト・小西佐多男
保刈 明子・大島 健裕・伊藤 宣彦
中川 将成・長谷川将行・山崎 泰志
外山登志子・河村 史紀・三宅 宏樹
平野 聡志・原山 美穂
田中 慶彦・竹内 純一・宮下 友里

上原美千代・丸山 泰功・高畑 正之

瀬田 庫夫・宮嶋 恵子・小山 文枝
吉澤 千里・塚原 弓絵・久保田聡美
依田 京子・関 和則・田鹿さやか
小泉 利徳・山口 美沙・林 恵里子
久保 典利・藤本 優紀・大石枝里子
近藤 友里・夏目 澄江

5月26日/岡谷市営

一級6名 初段57名

式段17名

佐藤由美子・橋本 和憲・細田 隆聡
原 茂・市川 隆光・木下 真希
内山 恵・百瀬 翔・福澤 健志
宮下 晋・内田小百合・雨宮 由季
山池 恵・守谷 春樹・堀 瞬
星野 理・鬼窪 美雪
参段9名
鈴木 一平・高井 浩太・児玉 将之
塩原 静雄・砂押 貴之・中村 梓
鷹野伊佐江・大野 周二・加藤 修平

四段13名

松田 愛子・畔上 宗幸・平澤 敏弘
水谷 有美・中村 和弘・安藤 教光
下平 春夫・熊谷 千夏・津田 明宏
大和 邦浩・鷲澤 拓治・篠崎 茂子
武岡キヌ子

(審査部)

弓仲聞紹介

飯山支部 本島平村弓道クラブ

柳 澤 万寿雄

伝統ある長野県弓道連盟機関紙「弓道ながの」に寄稿を頼まれ光栄であります。まさに僣越さを感じながら拙文を寄せさせていただきます。

私の弓との出会いは昭和55年の夏に開かれた村公民館の弓道教室でありました。22年前になりますが私もまだ40代血気盛んではありましたが何か生涯スポーツなるものとおぼろげながら探していたところ、この教室があると言うので早速申し込みました。弓については全く知識がなかったわけですが何か恰好がよいし中年からのスポーツには適しているかな、の程度でした。

教室はお盆頃から九月一杯、村内民宿の道場で主に夜開かれ12、13人の受講生、先生は現県弓連会長の古澤範士でした。結果として指導者に恵まれたのでしよう。弓特有の面どうな礼儀作法や古澤先生の厳しい指導にもめげずほぼ全員が卒業、しかも数名が皆勤(私もその一人)でしたから立派(?)なもんだな、なんて想い出しています。古澤先生の厳しい中にも人を引きつける指導力、人間味が弓をおもしろくさせてしまったんだと思います。教室が終わってすぐクラブを作りまして飯山弓道会にも加盟しまして飯山の先輩各位に御指導いただきまし

た。鉄は熱いうちに打てと言われますがだんだん熱くなりまして数キロも離れた飯山道場へ朝な夕なに通ったものです。

仲間も次第に増えまた飯山道場も近いとはいえず数キロそう皆が通えるものでもないということから村でも道場を作ろうではないかという話しが昭和58年春頃に持ち上りました。それというのも仲間には大工、左官、ブル技術者等いるんな職業が揃ってしまして何とか手作りでも出来るんでは、というわけです。結果として村からは敷地と有線古柱、射場(プレハブ)、板

金関係ブル等を出してもらった他は全部クラブ員が手造りで完成させました。作業はほとんど夕方から夜それぞれが本業を終わってから三々五々に集ってきて職人クラブ員の世話焼きでスコップを振りコンクリートを練り馴れぬ手付きで釘を打つノコを引く、今思えば結構楽しんでいたな一と思えますしまたそうでなければ出来なかったことでしょう。たまにはクラブ員以外の人も手伝ってくれたり又資金カンバも有志にお願いしたり建築



本職にも力を借りました。方々から応援いただきながら一年がかり翌58年7月28日には完成祝射会を開くことができました。

一方道場開きの儀式もやらなければなりません。一切古澤先生の御指導で幾晩も練習しました。矢渡し、一つの、持ちのクラブ員全員参加型のヨチヨチ射礼でしたがクラブ長の矢渡し、一つのでは全員一本的中させたことは感激で今でもその的は神棚に祭っております。中でも古澤範士の鳴弦四方固の儀、初めてみる

私と弓道

松本市 保刈 明子(武豊)



私が弓道に出会ってから今年で三年目になりましたが、振り返ってみるとあつという間に過ぎてしましました。始めてから一日たりとも弓道への関心を失った事はなく、練習することが楽しく感じられます。目標に向かって試行錯誤することが面白くて、今日こそ一歩前進するぞという気持ちで私の足を道場へ運んでいる気がします。

近頃私は弓道を通して生き方も学んでいるのではないかと、思う事がしばしばあります。以前私はある癖を治したいと考え、もがいていました。しかしなかなか上手く行かず、自分がどんどん正しい方向から脱線している気がして惨めな気持ちになりました。それでもなんとか練習し続けてだいたいぶ日も経った頃、ある

古式豊かな作法と迫力は未だに記憶に新しいものです。

以来20年連綿と続いています。がなかなか若い仲間が増えず高齢化を嘆きながらもたまには集って道場整備や一杯会で気炎だけはあげています。私事とすれば一線を退いてからの楽しみに今もたまには引いています。四つ矢三回位でダウンという有様です。
「緑陰や矢を種ては鳴る白的」：竹下しづ女。駄文にて失礼します。

先生のご指導がヒントになり突然自分の何が良くなかったのか、これからどうしたらよいか分かりました。そして自分はこの「癖が付き、それを治す」という遠回りを経なくては本当に理解することはできなかったのではないかと感じました。

この経験から遠回りをする事は決して無駄ではないこと、脱線して悪い状況になっても諦めないで頑張っていれば、いつか良くなるきつかけがつかめるという事を学んだと思います。この頃自分の人生についても世の中からはみ出しているように感じられて悩んでいたのですが、今いる状況の中で精一杯頑張ってみようと思えるようになりました。その後悩んでモヤモヤしていた頭もスッキリとし、するべき事を集中してできるようになったと思います。

これからも弓道が続け、様々なことを学んで充実した日々を送りたいです。

大会 結果報告

上信越弓道大会

4月21日/小諸懐古園弓道場
参加者68名/成績は次の通り

- ▼団体①群馬県(柴崎裕一・勅使川原守・関武雄・田中義裕)②臥竜(杉山・山崎・荒井・中島)③佐久A(和久・倉島・藤巻・宮川)
- ▼個人①杉山今朝吉(群馬)②荻原恒雄(上小)③宮川登(上小)④荒木義博(長野)⑤田中義裕(群馬) | 米川 |

第11回県下駒ヶ根大会

4月21日/駒ヶ根市弓道場
参加者153名/12射個人・団体を兼ねる
成績は次の通り

- ▼団体①信大E(高林詠・溝口俊也・本田大樹)②高知行(春日奈美子・山岸稔員・久保田智恵)③信大F(上辻大輔・谷口真・山本賢二)
- ▼個人●高校男子①粟飯原聡志(岡工)10中②吉原淳也(赤穂)9中③白鳥友樹(伊那北)8中
- 高校女子①岩崎友美(岡谷南)7中②伊藤綾(赤穂)7中③柿沢菜採(岡谷南7中)
- 一般①本田太樹(信大)12中②谷口真(信大)11中③松澤豊(信大)11中 | 外蘭 |

第60回護国神社例大祭奉納県下大会 第45回松本市民体育祭弓道大会

4月29日/松本護国神社弓道場
参加者222名/成績は次の通り

- ▼近的団体(12射)●高校①志学館(丸山真以・布野裕理佳・菊池めぐみ)9中②豊科(林圭亮・山本祐・上條友寛)8中③池田工業(原田公介・荒井尚・太田和樹)8中●一般①信大A(平野雅之・松田夕貴・半谷友一)10中②松本(百瀬隆美・西沢永子・中村まゆみ)10中③信大C(神保公太郎・松島琢真・高林詠)9中
- ▼近的個人(6射)●高校①内川あゆ美(蟻ヶ崎)5中②奥宏美(松商)5中③篠崎公治(南農)5中●一般①西沢永子(松本)6中②半谷友一(信大)③飛知和明弘(上小)6中
- ▼遠的個人(4射)●高校①荒井尚(池田工業)2中②奥原光博(豊科)2中③田中光太郎(志学館)2中●一般①吉澤金房(飯山)4中②水澤良宣(上小)4中③神保公太郎(信大)4中 | 清沢 |

第46回北信弓道大会

4月29日/飯山市弓道場
参加者55名/成績は次の通り

- ▼団体30射●高校男子①長野日大(鈴木尚・黒岩洋兵・鈴木雅太・轟智文・山崎哲)17中②篠ノ井(堀内修悟・平林大樹・酒井貴暁・小林弘幸・深澤勇介)15中③長野東(安久井鷹行・岡本恵介・小

林一也・峰村重揮・小林海道)14中

- 高校女子①篠ノ井(青木美沙子・牛澤友美・宮原明菜・酒井麻衣・吉田絵美)19中②文大長野(田中里果・高野優花・山本明子・町田智美・田中まゆみ)16中③長野西(小笠原朋子・酒井真里・早野智絵・小林洋子・徳永千恵)16中
- ▼個人(一般)6射●男子①武田吉樹(飯山)5中②河野利一(飯山)5中③蟻川修史(高専)4中④原周一郎(長野)4中⑤小田切雄一郎(飯山)4中●女子①民野千代子(中野)4中②道上英子(佐久)3中③町田節子(須坂)3中④岩崎恵美子(飯山)3中⑤宮澤麻衣(高専)2中 | 石田 |

第39回池田町弓道場開設記念大会

5月12日/池田町総合体育館弓道場
参加者187名/成績は次の通り

- ▼高校●団体①豊科J(和田理絵・原弥生・穂高千恵美)②豊科G(林圭亮・山本祐・上條友寛)③豊科F(西山小百合・白井裕美・川久保真帆)
- ▼一般●団体①木曾義仲(松原重雄・手塚英喜・林義泰)②穂高(小林基美・布野越・山岸清人)③篠ノ井OB会(中山剛・小出直紀・青柳徹也) | 宮本 |

町制施行45周年小満祭大会

5月19日/臼田町弓道場
参加者112名/成績は次の通り

- ▼一般●団体32射①懐古園(栗田知行・

長野県選的選手権大会

6月2日/松本護国神社弓道場
参加者56名/成績は次の通り 射数8射

- ◆男子▼四段以下①相沢勝浩(諏訪)7中②小沢剛志(上伊那)5中③山岸稔員(上伊那)5中
 - ▼五段以上①鶴飼克博(諏訪)7中②安藤広明(松本)7中③牧内和宏(飯伊)7中◆女子▼四段以下①春日奈美子(上伊那)6中②徳繁亜希奈(長野)6中③水田明美(上伊那)6中
 - ▼五段以上①木下美乃里(飯伊)6中②近藤明子(松本)6中③高地美佐子(上小)5中
- 全日本弓道選的選手権大会の県代表として次の選手が推せんされた。
- ◆男子 牧内 和宏(飯伊) 長沢 克彦(諏訪) 寺島 信夫(松本)
 - ◆女子 高地美佐子(上小) 近藤 明子(松本) 木下美乃里(飯伊) | 競技部 |

米川昭司・野田栄一・小山喜代二)19中

- ②善光寺(宮川登・五十嵐寿・奥山誠治・堀内忠和)15中③上田ローマン橋(小林博正・市場忠男・重田功・清水克也)14中●個人8射①宮川登(丸子)6中②栗田知行(小諸)6中③重田功(上田)6中
- ▼高校団体32射①野沢北B(有賀航平・湯本夏菜子・西澤いずみ・細谷智彰)15中②野沢北C(澤井慶介・横田一吉・高見澤佑介・黒田裕樹)14中③野沢北G(柳澤裕明・三石明彦・篠原徹・桜井孝雅)14中 | 岡部 |

第19回無相大師奉賛大会

6月1日/中野市営

参加者44名 成績は次の通り

- ▼一般8射①原田正浩(中野) 8中②中島勁(長野) 7中③伊藤梓(長野) 6中④小林千里(長野) 6中⑤松田恵理(長野) 5中⑥田村信一(群馬) 5中⑦金子俊一(長野) 5中⑧宮川登(上小) 5中⑨荒井みさ江(中野) 5中⑩折橋光江(長野) 5中

県高校総体

6月1日~2日/松本護国神社弓道場

成績は次の通り

- ▼男子個人(12射)①田中光太郎(塩尻志学館) 11中②上条(豊科) 11中③藤本(阿南) 10中
- ▼女子個人(12射)①小笠原朋子(長野西) 10中②林(岡谷南) 10中③田中(長野吉田) 10中

(男女とも1・2位が8月2~5日に水戸市で開く全国大会に出場)

▼男子団体決勝リーグ

- ①下諏訪向陽(宮沢・森・岩本・斉藤・矢崎・小柄洞・進藤) 3勝②長野2勝1敗③岩村田1勝2敗④豊科3敗

▼女子団体決勝リーグ

- ①伊那西(上村・田村・後藤・福沢・加藤・伊藤・中島) 3勝②長野西2勝1敗③岡谷南1勝2敗④松商学園3敗

(男女とも1位が8月2~5日に水戸市で開く全国大会に出場)

第45回近県弓道大会

6月2日/上田市営弓道場

参加者166名 成績は次の通り

- ◆高校団体40射▼男子①上田(高遠誠一・田中慶彦・黒沢悠樹・柳沢洋平・小西悠太) 18中②長野吉田(石丸祐樹・増山和也・高野聡一郎・藤沢融・河野博和) 17中③篠ノ井(平林大樹・関友晶・酒井貴暁・小林弘幸・小山田祐樹) 15中
- ▼女子①上田東A(元島有美子・池内良美・柳平真弓・花岡尚美・中島由貴) 16中②北佐久農業(小林沙矢香・井出優・須江春香・高見沢涼子・吉沢千里) 13中③上田東B(酒見智恵・荒川千晴・北澤友美・山崎祐美・池内恵理) 12中

◆一般12射▼①ウルトラ東部(宮野雄介・白井美幸・佐藤恵美) 7中②北佐久(掛川渡・清水雄介・田村信一) 7中③松本(廣田直之・丸山仙子・清沢安吉) 7中

▼個人8射①小山喜代二(飯山) 8中②廣田直之(長野高専) 7中③米川昭司(小諸) 6中④原田正浩(中高) 6中⑤遠藤由美子(上小) 6中

—西澤—

第1回乙女射会

6月23日/日義村弓道場

参加者25名

矢道にピンクの“河原なでしこ”一万本が植えられた満開の弓道場で女性弓士による大会が開催された。

成績は次の通り

- 一位 城下ゆかり(上小)
- 二位 斉藤 次子(木曾)
- 三位 斉藤千恵子(木曾)

○賞品は全員に、きれいな花卉が贈られました。 —上垣外—

◎教士研修会◎

6月29日・30日/上田市営弓道場

参加者34名

講師に、全弓連副会長・範士八段鈴木三成先生をお迎えし、また県弓連を代表し宮澤廣名誉会長、古澤博会長が出席され、二日間にわたり実施された。

第一日目は、古澤会長のあいさつ、鈴木先生のあいさつの後、全員による一手行射を一次審査の要領で行い、一人一人に対し具体的な講評と指導があった。

第二日目は、鈴木先生自ら、弓矢を持ち、手の内や、引き分けの要領、左右の肩の入り方、会での肘の納り方、残身の伸び合いなど範示された。

熱の入った一手行射、射技研修の後の



中率の上るなか、昨日に加えての総評があり、なごやかなうちにも、意義ある研修会を終了することができた。

長野県弓道連盟史

発行について

県弓連の歩みを集約した「弓道連盟史」の発行について、本年度から、体制づくりに向け、研究・検討させていただきます。



どのような内容で、どんなスタイルにするか、またポリシーームについても今後の会議で詰めてまいります。

各分野での執筆者の推薦や、古い貴重な写真・資料など保存されている方がございましたら、広報部までご一報ください。

長野県弓道連盟
ホームページアドレス

http://kyuren.cool.ne.jp

弓道用語・教歌

◆ならいぬる

習ひぬる事を心にかけてまくも、身にしらせつつ人にしらすな

竹林派稽古修業心得の歌。師匠から習った事を、心にかけて尊重畏みて、我身に十分に知らせて習い覚える様に努めて、我が物顔に人に教えなどするものではないとの歌である。

◆なんざん 南山

的山即ち塚の土盛りのことである。

的山は古来南に築き、北に面するを以て常則とするので、斯く呼んだものであろう。

◆のびあいは

延合は弓手に定め妻手にしめ、腹より総身筋骨をはれ

小笠原流持満の歌。引納めて持満の域に至ったならば弓手は中るべき位置に定めていささかの動揺もなく、妻手も中るべき位置に確かに落着かせて、肩臂腕にゆるぎなく、さて其の上は引くともなくゆるすともなく、只純一無雑となつて丹田を中心として、全身の筋骨の緊張を続けて発射すべきである。

編集後記

▼去る5月1日付で、長野県弓道連盟のホームページを開設することができました。皆様方のご協力に感謝申し上げます。「弓道ながの」ともどもご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。6月2日現在で500件を超えるアクセスがありました。何分にも初めての試みで内容的にも拙いものですが、ご意見をいただきながら、少しずつ充実させていきたいと思えます。

▼今回は、濱先生のインタビュー記事を記載しました。眼がご不自由でしたが、お元気で貴重な資料を見せていただいたり、お話しをいただきました。協力いただきありがとうございます。▼国体開催地紹介のコーナーでは高知県弓道連盟の伊藤尚武先生から大会準備などでご多忙中でしたが、パンフレットや丁寧な文章でご紹介原稿をお寄せいただき感謝いたします。「よさこい高知国体」のご成功を心からお祈りいたします。

(飯田秀樹)

—信州小諸— ●6人立 3道場●

泉の里

離れ方式の民宿 28棟 テニスコート・会議室

小諸市軽石
TEL・FAX 0267-22-5101

全日本弓道具協会会員

弦 春風 製造元

弓具一式 杉山弓具
修弦館

御弦師：杉山一雄・杉山英之

飯田市諏訪町1 TEL・FAX0265(22)6391